



経営管理委員会 会長
森 映 一



代表理事 理事長
関 谷 幸 男

皆さまには、平素より私ども愛媛県信用農業協同組合連合会（J A 愛媛県信連）をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も当会をより深くご理解いただくため、当会の経営方針、業務内容、最近の業績などについてまとめたディスクロージャー誌を作成いたしました。ぜひ、ご一読いただき、当会に対するご理解を深めていただければ幸いです。

当会は、昭和 23 年の設立以来、農業金融における県域組織として、また、農業および地域の発展を支援する地域金融機関として安定的運営を続けてまいりました。これもひとえに会員はもとより関係機関、地域の皆さまのご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、わが国の経済は、日銀の追加金融緩和による円安進行などにより、企業業績が大幅に改善し、雇用の拡大や賃上げに繋がり、個人消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調を維持している状況にあります。

一方で、中国の景気減速や米国の金利正常化がもたらす国際金融市場への混乱、欧州の財政問題といった懸念材料も持ち合わせております。

農業情勢につきましては、組合員の高齢化・後継者不足に加え、今後の日本農業の経営基盤を揺るがしかねない「TPP交渉」に加え、「JA改革」などJA系統組織の根幹を揺るがす大規模な農協法の改正が行われ、大きな変革期を迎えようとしております。

JAバンクを取り巻く環境につきましても、人口減少による市場の縮小に伴う金融サービスの競争激化など依然として厳しい状況にあり、また、今後を見据え、地銀再編に向けた動きが本格化するなど、生き残りをかけた金融機関同士の競争が益々激化しております。

このような中、県下 12 総合JAと当会で構成する「JAバンクえひめ」は、一体的事業運営態勢を一層強化し、皆さまとの絆を大切にしていきたいと考えております。

平成 27 年度は、中期経営計画(25～27 年度)の最終年度、仕上げの年であります。お客さまの目線に立ったサービスの提供と、一層の健全性の確保に取り組み、「JAバンクえひめ」が地域の皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。

今後とも、役職員一丸となって邁進する所存でございますので、引き続きご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成 27 年 7 月